

ハタチのカタチ

問い合わせ
社会教育・スポーツ振興グループ

1月13日、SAYAKAホールで成人式が開催されました。
スーツや袴、そして色鮮やかな振り袖などを身にまとい、新たな一步を踏み出す471人の新成人が会場に。式の前には級友との再会を喜びあい、思い出話をしたり、記念写真を撮ったりと、さわやかな笑顔が見られました。
新成人の言葉では、「感謝の気持ちと狭山で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んで行くことを誓います」と、感謝と抱負が述べられ、新成人の「将来の夢」を集めた動画でも、それぞれの決意が示されていました。
恩師からの言葉が集められた動画では、懐かしいエピソードや応援メッセージが送られ、新成人はときに笑い、ときに感動しながら、その温かい言葉に耳を傾けていました。



成人式企画運営委員代表
瀬尾駿也さん



歳の門出

この式で放映された2つの動画。これは新成人と、既に式を終えた先輩、来年以降に式を迎える後輩(18歳〜22歳)から構成される成人式企画運営委員会のメンバーが作成したものです。運営委員は、ほかにも成人式の広報や記念品の選定、会場設営など、様々な事前準備に多くの時間と労力をかけて、晴れ舞台を自分たちでつくり上げました。
この運営委員会ができて9年。先輩から後輩へとバトンがながれ、各年代が個性に溢れた成人式を企画しています。
運営委員代表の瀬尾駿也さん、今井達也さん、河端美沙紀さん、中島利望さん(来年新成人)に、式を終えた今の思いを聞いてみました。

成人式企画運営委員に聞いてみました

運営委員になったきっかけは

瀬尾 兄や知り合いがやっていたのは大きかったです。僕は19歳から委員になりました。同い年が自分だけだと心細いと思ったので、今井くん、酒井さん(委員)を誘いました



中島利望さん

今井 自分たちで考えたものをカタチにするのが好きで、そういう機会があればいいなと思っていたところにお誘いがありました
中島 今19歳ですが、兄姉が運営委員で、その姿を見て私もやりたいと思いました
河端 酒井さんに誘われて今年から委員になりました。ボランティアみたいなことをやってみようと思っていたので、ちょうどよかったです

委員って大変そうなイメージも

瀬尾 月1回の会議が基本。他府県で下宿している人、働いている人もいました
河端 会議に行けないときも、その内容をシェアできるようにしているので参加しやすかったと思います
やりがい、やってよかったと思った瞬間は



今井達也さん

今井 舞台袖で映像を見ていて泣きそうになりました。友だちが「あの動画よかったな、だれがつくったん？」って言うてくれて。貴重な経験が積めて、新しい出会いもあったので、委員になって本当によかったです
河端 式の後、いろんな人に「お疲れさま」と言ってもらえた瞬間。自分たちがつくったものがカタチに残って、それを人に見てもらえることがやりがいでした。この経験を生かして、人が喜んでくれること、人の役に立つことをしていきたいです



河端美沙紀さん

中島 新成人の皆さんの楽しそうで、キラキラしている様子を見られたときがとてうれしかったです。来年もたくさん仲間と成人式をつくっていったらと思います

瀬尾 リーダーとして、みんながやりやすい環境づくりを意識しました。メンバーが主体性を持って、連携もうまく取れました。式も無事に終えられてよかったです。来年も新成人の思いが詰まった成人式をつくってほしいと思います

おめでとう、

